

# コロナ禍に負けず

本年日本国内では新型コロナウイルス新規感染者が増加しており、未だ収束されていません。そのような中でも沼田町は新規店舗のオープンといった明るい話題もあり、また町内の施設を安全に利用していただくための対策などを行っていますのでご紹介します。

## こたろう 創作居酒屋 虎太郎が新規開店

市内1東に新しい居酒屋がオープンしました。店を開いた柘植(つげ)陽一郎さんは愛知県で約20年間飲食業を営んだ経験を活かし、手羽先や味噌カツ、どて煮などをメインとした「名古屋めし」を提供しますが、柘植さんは「実は韓国料理も得意なんです」と話していました。

奥さんが沼田町出身というご縁で今回店を開業しましたが、沼田町について柘植さんは「まだ来てまもないですが、ゴルフなどですぐに仲間ができてとても過ごしやすい」と感想を話し、お店については「2,000円で



ドリンク2杯と料理3品コースなどあるので軽く一杯の気持ちで寄ってほしい。テイクアウトもやっています」とオープン初日から店内のみならずテイクアウトのお客さんでも賑わいをみせていました。

## 町内施設に サーマルカメラ ・本の除菌器配備

新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として「ゆめっくる」「ほたる館」「暮らしの安心センター」「沼田厚生クリニック」に体表面温度測定サーマルカメラを設置しました。

カメラで体表面温度を測定し、発熱を感知した際には音声でお知らせする仕様となっています。(測定誤差がありますので、目安としてください。)

また図書館には書籍を紫外線(UV)で除菌する機器を導入しました。一度に6冊の除菌が可能でUVを30秒照射することで菌やウイルス等を取り除くことができます。

